

ウィンタースポーツの華

スキーにあこがれる時期もあった。トニー・ザイラー主演の「白銀は招くよ！」1958（昭和33）年に見た映画の映像があまりにも魅力的であったからだ。雪を被った大自然の美しい山々。雪を見たことのない、スキーを滑ったことのない人たちにとっては夢のような世界であった。1958年オーストリアで開かれたアルペンスキー世界選手権で、トニー・ザイラーは滑走、大回転、アルペン複合と3個の金メダルを獲得している。男から見ても憧れのカッコいいイケメンだ。トニー・ザイラーの出現で日本のスキー人口は大フィーバーしたことを覚えている。

しかしそれとは裏腹に私は後にも先にもスキーをしたのは1回のみ。場所は兵庫県神辺スキー場で33歳の時であった。スキーの元国体選手に教わった。まずはボーゲン（足の位置がハの字）から…。一度こけると起き上がるのに大変。110 kgの体重を細いストックで支える。寒いはずの雪の中にもかかわらず身体中汗でびしょびしょになった。

東京駅より上越新幹線でガーラ湯沢駅まで77分でいきなり一面雪の世界に舞い込んだ気分。駅を降りるとそこはスキー場の入り口。生憎この日は強風のためリフトは中止していた。せめて山頂まで登り雪と戯れたかったのだが残念だ。駅の中にはスキー用具のレンタルからロッカー等の設備が整っており、更に嬉しいことに温泉施設があった。冷えた体には最高であろう。ここガーラ湯沢駅は冬季のみ営業する臨時駅。ウィンタースポーツを楽しむ人たちの特別の駅なのだ。



撮影 2013年春

